2015.4.2

第12回中小労働委員会（中小共闘センター）確認事項

2015春季生活闘争は、「デフレからの脱却」「経済の好循環」実現に向けて「底上げ・底支え」「格差是正」を前面に掲げ、昨年からの賃上げの流れをより一層推し進めるべく、これまで精力的に交渉を進めてきた。

５つの共闘連絡会議とも連携を深め、先行組合の回答引き出し状況などについて情報を共有し、地域においても地方連合会が設置した中小共闘センターを中心に地域・地場での賃金相場等の情報開示や回答引き出しの情報共有を行い、３月決着に向けて取り組みを強化してきた。

３月 31 日現在における集計結果を見ると、平均方式では加重平均で 6,944 円と、昨年同時期比 449 円増という賃上げ回答を引き出すことができており、中小組合でも 5,185 円と前年を 375 円上回っている状況にある。また、非正規労働者の処遇改善においても、正規労働者との同時決着や正規労働者を上回る回答を引き出した組合もあるなど、一定の成果があがっている。
しかしながら、目先の経営状況や先行き不透明などを主張する姿勢を崩さない経営側も多く、底上げや格差是正という観点では、まだまだ改善がはかられていない。

我々はこれまでの闘いのうねりをすべての働く者の底上げ・底支えと格差是正に確実に波及させていくために、以下の取り組みを強化していく。

○　構成組織と地方連合会は連携し、要求未提出組合について、速やかに要求書提出に向けた指導を行うとともに、未解決組合の交渉を促進し、賃金カーブ維持分を確保した上で、昨年を上回る回答引き出しに全力を挙げる。また、非正規労働者の均等処遇の実現に向けて、正規・非正規の同時決着をめざす。
○　構成組織は、交渉中の単組に対する訪問オルグなど、傘下組合の交渉力強化に向け全力を尽くす。大手組合は、グループ・関連会社組合の支援を強化する。
○　地方連合会と地方の構成組織は、情報交換を密にするとともに地場の賃金水準や回答引き出し状況などの情報開示を積極的に進め、地場共闘の取り組みを強化する。

2015 春季生活闘争における底上げ・底支え、格差是正に向けた闘いはまだまだこれからである。長期にわたるデフレ経済からの脱却を確実なものとし、地場・中小・非正規労働者の賃上げを起点とした新しいサイクルでの経済の好循環を実現するために、最後までともに闘うことをここに確認する。

以上